

伊勢湾貧酸素情報（第 3 報）

三重県水産研究所 鈴鹿水産研究室

伊勢湾の底層では海水中の溶存酸素濃度が低下しており、広い範囲で 2 mg/L 以下の貧酸素水塊が形成されています。

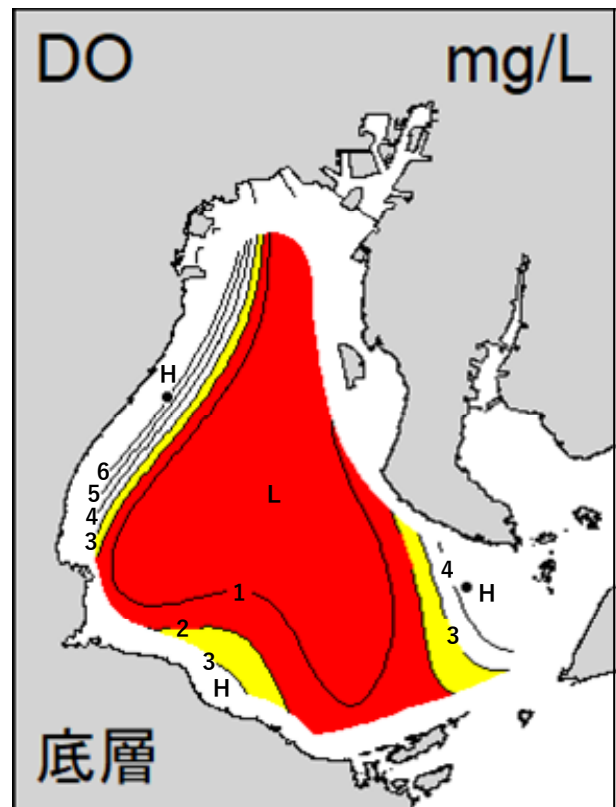
8 月 5 日の調査結果

8 月 5 日の調査船「あさま」の定線観測によると、水温は表層で 27.9～30.9℃、10m で 23.3～27.4℃、底層で 19.2～27.1℃ の範囲にあり、表層は平年より高め、10m は平年よりかなり高め、底層は平年よりやや高めとなっていました。

DO（溶存酸素濃度）は表層で 6.9～14.2 mg/L、10m で 2.3～7.3mg/L、底層で 0.1～6.5 mg/L の範囲にあり、表層と 10m は平年並、底層は平年よりやや低めとなっていました。

底層では、先月の観測時より規模が拡大し、依然として広い範囲で 2 mg/L 以下の貧酸素水塊が形成されていました。

表層と底層の水温差が大きいことなどにより、海水の上下混合が起こりにくく、今後も貧酸素状態は継続するものと考えられますので、漁場の選定や操業の参考にしてください。



底層貧酸素水塊分布図